

ぽこあぽこ

2017年11月号
No.1

ホムの子馬食によれば、環境の特殊状況によって、子どもが手を使えない場合には、小生格が極めて低い水準にとどまり、従ってはいられず、不積極的ではなく、不精で陰気な性格になってしまうことが、はきりました。
～モンテッソーリの言葉より～

ぽこあぽこクラスでおあずかりさせていただいている1歳半～3歳くらいのお子さまは「イヤイヤ期」と呼ばれる第一次反抗期にいらしゃいます。

子どものひどいこだわり、同じおもちゃでしか遊ばない、お友だちにおもちゃを貸せない…それどころか、行動自体が意味不明*。子どものことがさっぱりわからない*。…なんてことも。子どもに関しての「？」を、知りたい！何とかしたい！と思って、当教室に来てくださった方も多いのでは…?? 教室に来て、子どもが変わってきた♪子育てがスムーズに&楽しくなってきた♪など、何か感じることはありませんか? 「まだ通ったばかりで、よくわからない」と思っているでしょうか? いえいえ、そんなことはないんですよ!! もうすでに、皆さんは、モンテッソーリ流「自分でできる子」への子育ての一步を踏み出されているのですよ♡ 教室での活動の様子をお伝えしたり、またそのお返事を聞かせていただいたり、送迎の際にお話したりする中で、もう実践してくださっています。では、モンテッソーリ流子育てとは何か?? これから、少しずつ、ぽこあぽこ通信にて、お知らせしていきたいと思ひます。

モンテッソーリ流子育ては…

- 知る → 子どもの環境に対して、「敏感」になる時期がどういふものかを知って、
- 見守る → 子どもをきちんと観察して、
- ときどき助ける → 子どもに適切に声をかけ、動きかける

…という、子どもの自主性・独立性、知的好奇心を育む子育てです。

イヤイヤもこだわりも、同じことを繰り返すのにも、実はきちんとした意味があります。そのことが分かる(=知る)と今までダメと言ひ続けたことが「なへんだ♪そうだったんだ」と子どもへの、見方が変わり、今よりさらに楽しく子育てができるようになります。それにはまず、大人が子どもを、「よく観察する」ことです。観察する(=見守る)と見えてくるのは、「子どものマイブーム」♪
子どものマイブーム = 敏感期とよばれるものです。この個々の敏感期に合った教具(=お仕事)や環境を教室で準備してお迎えするために、今は、とにかく温かく子どもの行動をたくさん観察(=見守る)して頂き、ホム達教師にお知らせください。どの子にも備わっている自分でできる能力を伸ばすための適切な声かけ、働きかけ(=ときどき助ける)に向けて、子どものいろんな面に気づいてください。

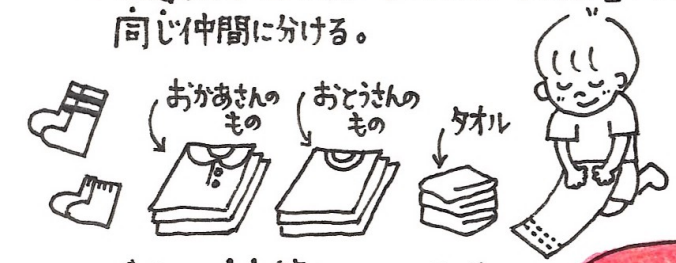
ちょっとしたポイントを知ること
子育てがスムーズに楽しくできる事なども、
「今月の〇〇」として、ご紹介していきます♪

今月は「おてつだい」
おうちではどのような
おてつだいをさせて
あげていますか?

特別なことをさせて「できたね」とほめていませんか?
それでは、おてつだいと言えません。
子どもの今の成長にみあった動きが入っている
おてつだいをさせてあげてくださいね!!

「同じ仲間」を知ろう♪

- 洗濯物の中から、くつ下のペアを探す。
- お母さんやおてつだいをしたたんだ洗濯物を同じ仲間に分ける。



- 食卓に、同じ箸をそろえて並べる。
- 玄関のくつをそろえる。

